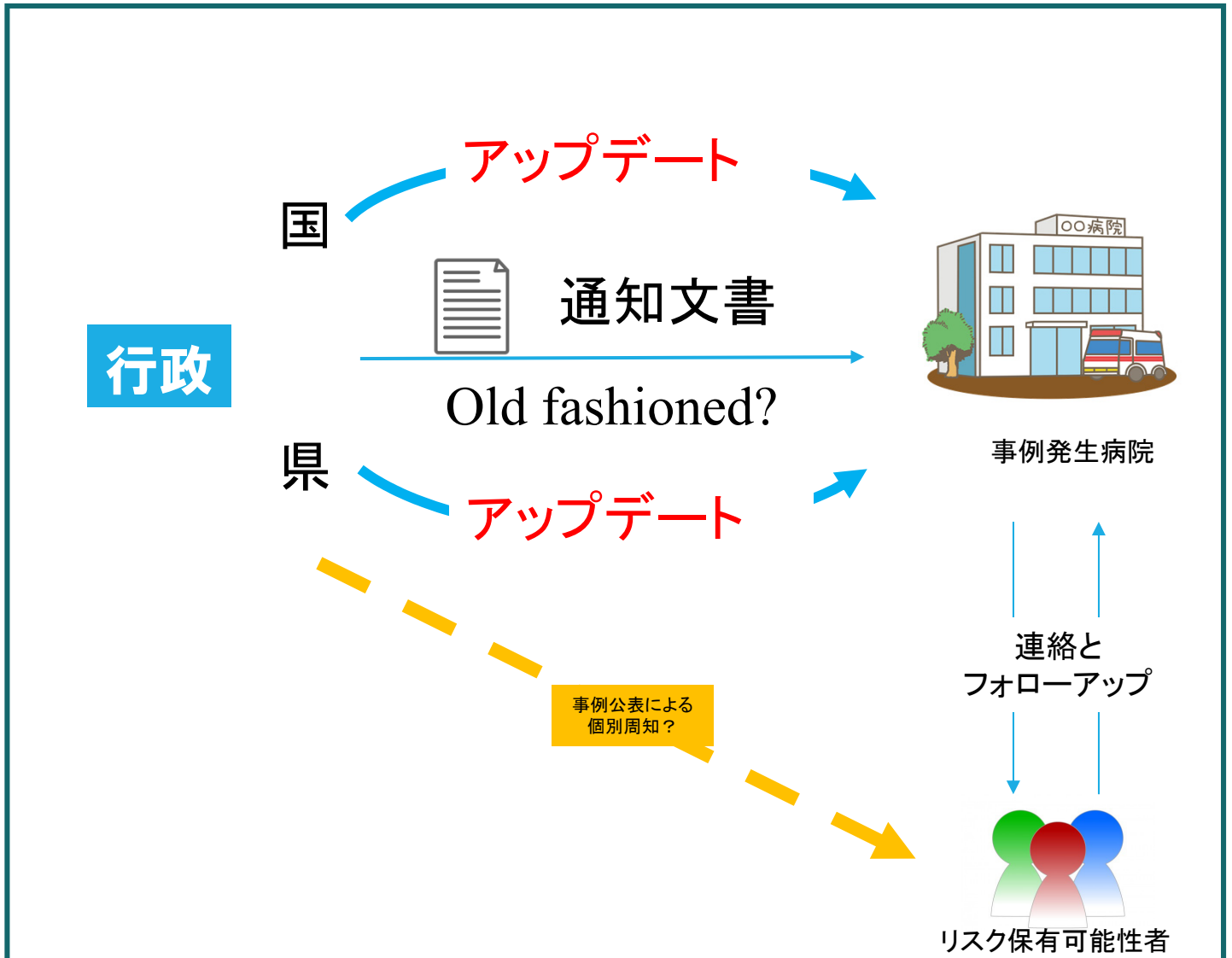


CJDインシデント調査困難事例への対応から考える  
CJDインシデントリスク保有可能性者へのリスク周知方法の向上

研究分担者: 聖マリアンナ医科大学脳神経外科 太組一朗



解 説

1. CJDインシデント調査を通じてリスク保有可能性者に対して個別に事例周知させる必要があるが、インシデント調査困難事例が存在する。過去に発せられた通知文書の有効性に対する疑問が呈された。
2. 効率の良い周知方法として当該病院に協力いただくためには、国や県からの指導等を通じて、通知内容をアップデートすることも重要である。